

「**シャレン!**で**献血**」協力者数が1万人を突破！
～Jリーグ全クラブ等と協働し、安定的な献血の提供に貢献～



明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、公益社団法人日本プロサッカーリーグ（以下、Jリーグ）と、「社会的価値の創出」をテーマに、当社の「地元の元気プロジェクト」^{（注1）}とJリーグの社会連携活動「シャレン！」^{（注2）}が一体となって、各地域課題に応じた社会貢献活動に取り組んでいます。

その一環として、若い世代の献血が減少傾向である社会課題をふまえ、2023年4月から献血の啓蒙活動を行なう「シャレン!で献血」^{（注3）}をJリーグ全クラブ等と協働で実施し、今般、献血協力者数が1万人を突破^{（注4）}いたしました。

本取り組みは、当社が包括パートナーシップ協定を締結している日本赤十字社に全面協力いただき、一部のスタジアム^{（注5）}では、Jリーグ選手OBにも献血案内にご協力いただきました。

2024年度は、各地域の献血ルームでの「シャレン!で献血」の実施期間を延長するとともに、Jリーグ選手OB会との協働を全60クラブ^{（注6）}に拡大し、これまで以上に若い世代の献血者の減少という社会課題の解決に向けて貢献してまいります。

＜Jリーグ選手OBによる献血案内の様子＞



（注1）「つながり、ふれあい、ささえあう地域社会を。」をコンセプトに、地域の橋渡し役として「社会的なつながり」を提供し、地域のみなさまと各地域の資源・コミュニティをつなげることで、豊かな地域づくりへの貢献をめざす取り組み
プロジェクト詳細：<https://www.meijiyasuda.co.jp/brand/jimotonogenki/>

（注2）「シャレン！」の概要：<https://www.jleague.jp/sharen/>

（注3）「シャレン!で献血」の概要：<https://www.meijiyasuda.co.jp/brand/jleague/sharen/>

（注4）2023年4月から12月末までの累計

（注5）2023年度は21カ所で開催

（注6）悪天候やJリーグ選手OBのスケジュールの都合等により、参加できない場合がございます

【ご照会先】
広報部 広報グループ TEL 03-3283-8054

明治安田生命保険相互会社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1

ひとに健康を、まちに元気を。



■ 2023年度の「シャレン！で献血」の実績について

当社は、約36,000人のMYリンクコーディネーター等（営業職員）が中心となり、Jクラブや、日本赤十字社等と協力して、地域のみなさまへの献血ルームのご案内活動や、Jリーグのファン・サポーターやスタジアム来場者に向けた、試合当日の献血バスへのご案内活動等を行なっています。

これまでに、Jクラブ・JFL等、あわせて73のスタジアムおよび各地域の献血ルームで、10,341人^{（注7）}の方々に献血にご協力いただき、10～30代の若い世代の献血協力者が全体の約3割（26％）を占める等、若い世代の献血離れの解決に向けて貢献してまいりました。

また、「シャレン！で献血」における初回献血率^{（注8）}は、日本赤十字社が実施する令和四年度の初回献血率よりも高く、特に10～30代の数値が良好な結果となり、若い世代の献血者が減少傾向のなか、献血に協力するきっかけづくりに貢献いたしました。

（注7）2023年12月末時点

（注8）献血協力者のうち、初めて献血を実施した方の割合

<2023年度（4－12月）実績>

合計協力者数

10,341人
(うち26%が**10～30代**)

若い世代による
献血協力が良好

初回献血率

5.8%

7.6%

<年代別> 初回献血率

10代：48%

20代：22%

30代：11%

若い世代を中心に
初めて献血する
きっかけづくりに貢献

日本赤十字社が実施
する全体の献血

シャレン！で献血

※ 献血協力者数の内訳は次ページ以降（参考）に記載

以 上

献血協力者数の内訳（２０２３年４－１２月実績）

献血協力者数（人）		
	うちスタジアム	うち献血ルーム
10,341	3,796	6,545

<スタジアムでの献血協力者数（Ｊクラブ・ＪＦＬ等別）>

カテゴリー	クラブ名	協力者数 (人)	カテゴリー	クラブ名	協力者数 (人)
Ｊ１	北海道コンサドーレ札幌	29	Ｊ２	大分トリニータ	54
	鹿島アントラーズ	50		鹿児島ユナイテッドFC	32
	浦和レッズ	81	Ｊ３	ヴァンラーレ八戸	55
	柏レイソル	53		いわてグルージャ盛岡	82
	ＦＣ東京	42		福島ユナイテッドFC	38
	東京ヴェルディ	36		大宮アルディージャ	62
	ＦＣ町田ゼルビア	23		Ｙ．Ｓ．Ｃ．Ｃ．横浜	40
	川崎フロンターレ	182		SC相模原	27
	横浜Ｆ・マリノス	54		松本山雅FC	49
	湘南ベルマーレ	48		AC長野パルセイロ	56
	アルビレックス新潟	43		カターレ富山	51
	ジュビロ磐田	46		ツエーゲン金沢	46
	名古屋グランパス	48		アスルクアロ沼津	35
	京都サンガF.C.	52		FC岐阜	59
	ガンバ大阪	56		FC大阪	69
	セレッソ大阪	50		奈良クラブ	58
	サンフレッチェ広島	79		ガイナレ鳥取	34
	アビスパ福岡	76		カマタマーレ讃岐	44
	サガン鳥栖	60		FC今治	58
Ｊ２	ベガルタ仙台	33		ギラヴァンツ北九州	49
	ブラウブリッツ秋田	61	ＪＦＬ	テゲバジャーロ宮崎	40
	モンテディオ山形	64		FC琉球	73
	いわきFC	62		ラインメール青森FC	29
	水戸ホーリーホック	50		ブリオベッカ浦安	33
	栃木SC	59		FCマルヤス岡崎	48
	ザスパ群馬	89		ヴィアティン三重	59
	ジェフユナイテッド千葉	77		高知ユナイテッドSC	11
	横浜FC	47	地域 リーグ等	東京23FC	20
	ヴァンフォーレ甲府	59		鎌ヶ谷SC/習志野シティFC	44
	清水エスパルス	30		COEDO KAWAGOE F.C	56
	藤枝MYFC	29		南葛SC	43
	レノファ山口FC	73		VONDS市原FC	61
	徳島ヴォルティス	42		FC ISE-SHIMA	66
	愛媛FC	58		アルテリーヴォ和歌山	50
	V・ファーレン長崎	53		福山シティFC	125
	ロアッソ熊本	46			

※１ カテゴリーは２０２４シーズン体制で記載

※２ ヴィッセル神戸・ファジアーノ岡山は天候等の影響により、献血バスの配備は行なわず、スタジアムでの献血案内活動のみ実施

※３ ＪＦＬ・地域リーグ所属クラブは実施したクラブのみ掲載

＜献血ルームでの献血協力者数（都道府県別）＞

都道府県	献血協力者数	都道府県	献血協力者数
北海道	73	滋賀県	9
青森県	132	京都府	224
岩手県	17	大阪府	20
宮城県	42	兵庫県	61
秋田県	91	奈良県	43
山形県	120	和歌山県	10
福島県	247	鳥取県	2
茨城県	18	島根県	158
栃木県	30	岡山県	52
群馬県	332	広島県	38
埼玉県	106	山口県	266
千葉県	233	徳島県	182
東京都	118	香川県	4
神奈川県	1,501	愛媛県	12
新潟県	31	高知県	34
富山県	9	福岡県	10
石川県	22	佐賀県	77
福井県	32	長崎県	164
山梨県	9	熊本県	227
長野県	27	大分県	211
岐阜県	188	宮崎県	62
静岡県	233	鹿児島県	4
愛知県	906	沖縄県	87
三重県	71		